

阿波市全庁評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	33	1	基本事務事業名	阿波市学校給食運営管理業務	事務事業名	学校給食運営管理業務	公的関与	7	シート作成日	平成31年4月1日				
	部局名	教育委員会		課名	学校給食センター	主務課長名	川人啓二		シート作成者名	川人啓二					
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 学校教育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(7) 学校給食における地産地消の推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		学校給食法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		学校給食における地場農産物の利用拡大するとともに、生産者の生産意欲の向上を図る											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	阿波市学校給食地産地消推進計画の目標値を達成する										
				今年度	毎月開催している農産物供給協議会担当者会の内容をより充実したものとする。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 農産物供給協議会においての課題検討します。														
	② 地産地消を目的とした食育推進を行います。														
	③ 地場産野菜の効率的使用をめざした献立の見直します。														
	④ 地場産生産者と児童・生徒のふれあい給食会を開催します。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標					
	学校給食における地産地消率の目標数値(重量ベース)		農産物			目標	49	52							
							実績	42.4	43.2						
	学校給食における地産地消率の目標数値(重量ベース)		米			目標	100	100							
							実績	100	100						
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計		款		項		目		備考					
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算									
		国庫支出金		千円	千円	千円									
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		千円	千円	千円									
	計(A)		0 千円	0 千円	0 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.200 人	1,186 千円	0.200 人	1,161 千円	0.200 人	1,208 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		1,186 千円		1,161 千円		1,208 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	県内有数の農産物生産地帯である本市における学校給食の地産地消率の推進は、地域における影響は大きい。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い	事業を継続することで、安定した地場産物の供給が実現できている。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い		<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている	台風や長雨など、悪天候により、特に冬場の供給率が下がった。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	先進地の事例を研究し、活用へと繋げている。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	1	4	B	4	4	4	4	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	地場産農産物使用については、台風や長雨など気象条件により、それぞれの季節の供給率が例年と比較すると下がることもある。その部分をどう補うか課題である。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	地場産農産物の供給体制は、供給協議会が主となっているが、加えて、障がい者就労支援施設・地元で農場を有する高校の生産物の納入を実現し、地産地消率の向上につなげる。					農産物供給協議会と地場産農産物の供給体制の推進を図るとともに、障がい者就労支援施設や吉野川高校の生産物の納入促進に努め、地産地消率の向上を図ります。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	33	基本事務事業名	阿波市学校給食運営管理業務	事務事業名	学校給食運営管理業務	公的関与	7	シート作成日	平成31年4月1日			
	部局名	教育委員会		課名	学校給食センター	主務課長名	川人啓二		シート作成者名	川人啓二			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	令和	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(7) 学校給食における地産地消の推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		学校給食法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内全ての小・中学校、幼稚園・認定こども園(4・5歳児)や保護者、一般市民										
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	学校給食センターにおいて、見学会や試食会を実施し、学校給食への理解を深めるとともに、食育の推進に努めます。また、給食メニューコンクールや食育パネル展を実施し、食育活動について広く周知します。									
			今年度	小中学生や幼稚園児への食育推進とともに、保護者や市民に対しても給食センターを活用した食育推進を図ります。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 県学会・試食会の開催します。												
	② 給食メニューコンクールを開催し、給食での提供やアエルワ食堂での提供を実施します。												
	③ 夏休みに親子学校給食センター探検隊を実施します。												
	④ 調理員とのふれあい給食会を実施します。												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標				
	学校給食センター試食会・県学会				団体	目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会 計	款			項			目	備考			
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算							
		国庫支出金		千円	千円	千円							
		県支出金		千円	千円	千円							
		地方債		千円	千円	千円							
		その他特定財源		8 千円	16 千円	0 千円							
		一般財源		4 千円	3 千円	19 千円							
	計(A)		12 千円	19 千円	19 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.800 人	4,744 千円	0.800 人	4,644 千円	0.800 人	4,830 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)			4,756 千円	4,663 千円	4,849 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	センター方式をとる本市の特性を活かし、児童生徒はもとより、市民への食育についても推進している。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	展示やイベントの内容を精査しながら進めている。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている	様々な食育活動を推進できている。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	予算やコストをかけることなく、創意工夫した新たな取り組みも展開できている。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	1	4	B	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	29年度から、ノロウイルスやインフルエンザの対策上、見学会・試食会の期間を限定(5月～12月)と限定したため、小学校の見学会・試食会が減少しています。市民への見学会・試食会の参加の呼びかけを広げていかなければなりません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	新年度早い時期(5月)には、小学校長会や給食主任者会において、見学会・試食会への申し込みについて呼びかけています。市民にはHPで周知を図ります。					保護者や市民の皆様に見学会や試食会により多くの方が参加いただけるような周知に努め、学校給食への理解と食育の推進に努めます。							
委員会指摘事項													